東愛知新聞（9/8掲載）

2014年（平成26年）9月8日（月曜日）　東　愛　知　新

「地域力」で災害対処

豊橋の前芝校区自治会　大地震想定し訓練

大人も子どもも真剣　一人一人に備え

初期消火のためバケツリレーの練習を行う前芝校区民ら＝豊橋市前芝小学校で

豊橋市前芝校区自治会は7日、前芝小・中学校などで防災訓練を行った。南海トラフ巨大地震に備え、迅速な避難や消火方法を校区住民が一丸となって学び、地域の防災力向上に取り組んだ。

訓練は「午前8時に震度6強の激震に見舞われた」という想定。前芝保育園・小学校・中学校の子どもたち約470人を含む950人が参加した。

各町別に分かれ、応急手当や初期消火などの訓練を行い、災害時の適切な対応を学んだ。また、災害時の炊き出し担当となっている住民が1000人分の「肉じゃが丼」を作り、連携や手順の確認などを行った。

子どもたちも熱心に訓練に取り組んだ。園児は津波を想定し、約300㍍先の中学校3階まで懸命に避難。また、「中学3年生は助ける側としての自覚を持ってほしい」と訓練の運営を手伝った。中学3年の本野柊太くん（14）は「平日の昼間は大人はいない。中学生が一番働かないといけない」と、バケツリレーの初期消火に励んだ。

過去の地震を参考にした市の予測によると、同校区は津波で11人の死者が出ると予想されている。森田正春前芝校区自治会長（67）は「逃げ遅れのないよう、いち早く避難所に行けるように今後も訓練に励みたい」と話していた。（飯塚雪）

中日新聞（9/8掲載）

小中と保育園合同で　豊橋

○…豊橋市前芝校区では、自治会と小中学校、保育園による初の合同防災訓練が前芝小学校であり、千人ほどが参加した。

午前八時に震度6強の地震が発生したと想定。住民らは歩いて小学校に集まり、中学生は近くにある保育園の園児らを学校屋上に避難させる訓練もした。

グラウンドでは、子どもたちと住民らが居住地ごとに班に分かれ、起震車や応急手当て、バケツリレーなどを体験した。住民が食材を持ち寄って炊き出しもした。

森田正春自治会長（六七）は「校区は海岸沿いで高い避難所もない。常に訓練をして認識を高めたい」と話した。

バケツリレーでの消火を練習する子どもたち＝豊橋市前芝小で

『豊橋ほっとメール』に登録していますか？緊急時には、いかに早く、正しい情報を知るかが大切になります。まだの方は、別紙を参照に登録をお願いいたします。